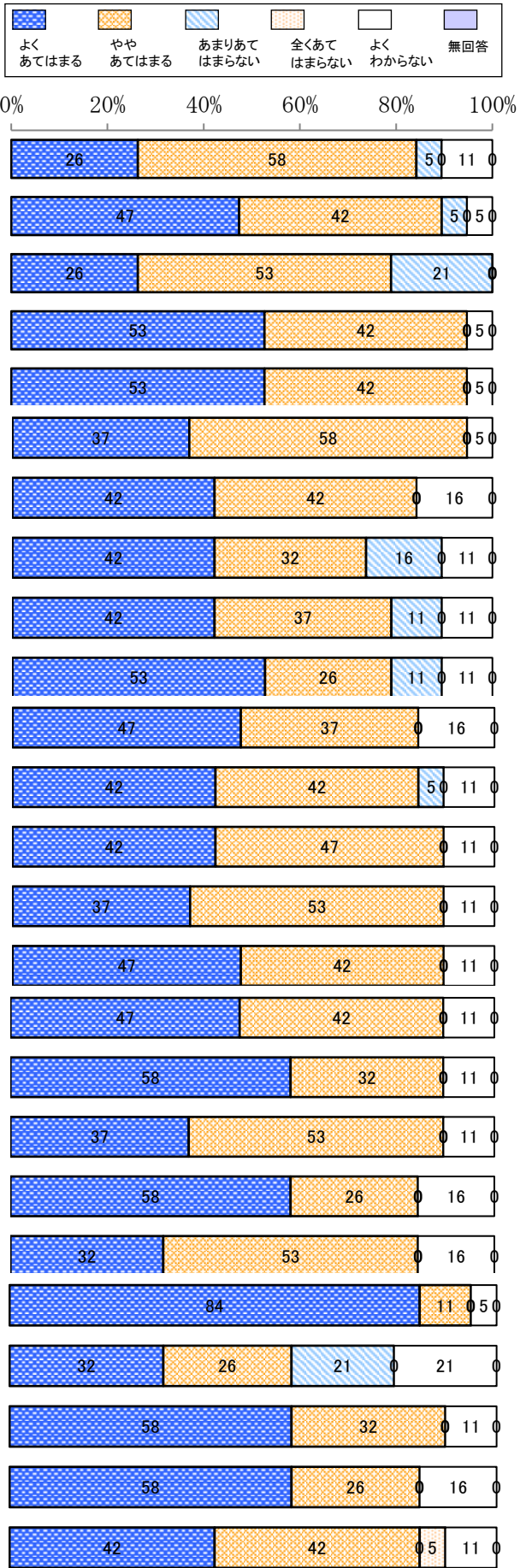


アンケートの結果				上段：生徒 下段：保護者等 グラフ：教職員						
				A	B	C	D	よく分からない	無答	
学校全体の様子	1	教育目標・方針	児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。	31 17	45 65	14 9	4 0	6 9	0 0	
	2	児童・生徒の様子	児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。	65 26	30 65	3 5	1 1	1 4	0 0	
	3	基本的生活習慣	児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的生活習慣がしっかりしている。	51 24	46 60	2 9	1 1	0 5	0 0	
	4	児童・生徒理解	児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。	39 21	45 60	9 7	2 0	4 11	0 0	
	5	健康・安全・安心	児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。	59 26	34 64	3 3	1 1	2 6	0 0	
学力向上の取組	6	分かる授業	楽しく分かりやすい授業が実践されている。	33 17	50 49	13 7	2 1	2 26	0 0	
	7	個に応じた指導	習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。	42 15	43 50	12 11	1 2	2 21	0 0	
	8	学習習慣	放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。	28 18	31 47	28 15	11 2	2 17	0 0	
	9	情報教育	タブレットP Cなど、I C T機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。	67 23	29 52	3 6	1 0	0 19	0 0	
	10	学校図書館の活用	読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。	44 20	40 41	12 13	3 4	0 23	0 0	
社会性・人間性の育成	11	人権教育	自他を大切にし、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。	57 21	34 49	4 7	1 2	3 21	0 0	
	12	道徳教育	生命を大切にする気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐくむ教育を行っている。	64 21	30 50	3 7	0 1	2 22	0 0	
	13	教育相談	教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。	35 17	33 46	16 11	9 2	6 24	0 0	
	14	人間関係づくり	学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係が築けるよう取り組んでいる。	76 43	18 51	4 3	0 2	1 1	0 0	
	15	自治的な活動	学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が自発的・自治的に活動できるように工夫しながら指導している。	51 37	38 51	5 4	1 1	5 7	0 0	
保護者・地域との連携	16	情報発信	学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	45 27	33 58	6 9	1 1	15 4	0 0	
	17	相談への対応	児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧に受け止め、適切な対応をしている。	47 25	39 54	4 8	2 0	9 12	0 0	
	18	学校への参加	学校公開週間や土曜授業日、学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	46 27	41 61	9 8	1 1	3 3	0 0	
	19	地域との連携	地域の行事などに協力的で、連携を図っている。	32 27	28 49	26 1	12 0	2 23	0 0	
	20	意見の反映	保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。	41 19	41 42	7 6	2 1	8 33	0 0	
各学校の特色ある教育	21	検定等による学習意欲の向上	学習意欲向上のために、英検、漢検、数検等の各種検定に取り組んでいる。	28 30	29 52	19 7	20 1	3 10	0 0	
	22	新型コロナ対策としての健康・安全教育	マスク着用の徹底、手洗い・うがいの励行を図り、毎日体温チェック等の健康観察を行っている。	30 18	41 38	20 14	6 5	2 26	0 0	
	23	定期考査にむけた家庭学習	「学習計画表」「試験前てらこや」などを活用して、定期考査に向けての家庭学習が充実するよう取り組んでいる。	30 25	41 57	19 10	9 2	1 7	0 0	
	24	外部人材の活動	マナー講師を始め、講演会や各種出前授業など、学習活動に外部人材が活用している。	39 20	46 53	10 3	1 1	5 23	0 0	
	25	アクティブラーニング	考え話し合う、発表をしたり聞いたりするなど、アクティブラーニングを取り入れた授業に取り組んでいる。	60 18	35 48	4 4	1 1	1 28	0 0	

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）
生徒8割弱が「あてはまる」と回答。教育目標をより具体的でわかりやすく説明する場などを設け、発信や周知を図る。
約9.5割の人が「あてはまる」と回答。生徒自身の学校生活への満足度は高いと思われる。居場所や活躍の場を設定し、自己実現を図る。
生徒は9.5割、保護者は8.5割が当てはまると回答している。校内だけでなく保護者や地域の方とも連携し、指導に力を入れる。
三者ともいずれも「あてはまる」回答率が高い。今後も継続する。
避難訓練や交通安全指導などにより年間を通して取り組んだ結果、「あてはまる」の回答が多かった。
生徒の8割強があてはまると評価。一方、保護者は6.7割に留まる。基礎学力の充実とともに、授業改善に努めていく。
前項目同様、保護者の肯定感が6.5%と低い。分かり易く魅力ある授業や全員参加を意識した授業展開等を行いながら、家庭学習と連携していく。
「あてはまらない」と否定的な回答が4割であった。家庭との連携を図った家庭学習充実のための取り組みが必要である。
生徒9.6割と大変高評価である。必要に応じて、今後もタブレットP Cや電子黒板の利用を進め、情報活用能力の育成に力を入れていく。
「あてはまる」の回答は、生徒約8.5割。学校図書館を利用した授業などをさらに取り入れる。
生徒9割が肯定的評価と高評価である。キャリア教育などと関連させ体験的な学習を通し、豊かな人間性を育てていく。
全質問項目の中でも生徒による肯定的評価が多い。今後も教材を工夫し、道徳の実践力に富む生徒の育成を図る。
生徒の1.5割が「あてはまらない」と回答した。生徒が気軽に相談できる環境を整える。相談室だより等で生徒や保護者に周知していく。
近年、生徒、保護者ともに満足度が高い。今後も学校行事等の教育活動に工夫を凝らし充実させていく。
生徒の9割が「あてはまる」と回答。生徒会を中心に委員会を設置し自主的な活動を行うことで、生徒の当事者意識が高いと思われる。
ホームページ・便りともにこまめな情報発信に努めているものの生徒の回答「よくわからない」が2割占めている。わかりやすい発信をしていく。
昨年度より保護者の「あてはまる」回答が1割増。保護者との連絡を密に行い取り組む。保護者、地域との連携をさらに深める。
肯定的評価が2割増加している。感染症対策などの工夫をしながら、地域との連携をすすめていく。
保護者回答の全項目の中で「よくわかからない」回答が一番多い。コロナ禍で工夫をしながらも再開した活動があることを周知する。
前問同様「よく分からない」と回答している保護者が多く、約4割だった。保護者会などを通して、保護者の方の意見や要望を集約していく。
「あてはまる」と回答した生徒の割合がわずかに増加。各種検定の周知を図り、さらに多くの生徒が興味・関心を高める工夫をする。
感染症対策だけにとどまらず、日々の生徒の健康管理を引き続き行う。
「あてはまらない」回答は少なく、考査前には家庭学習の取り組みが充実している様子がある。
「あてはまる」回答が生徒は8.5割。コロナ禍でも工夫して外部人材の取り組みが再開できている。
生徒の9割以上が「あてはまる」回答に対し、保護者は「よく分からない」と3割。話し合いや発表を取り入れた授業を公開授業などで積極的に行う。

